

2010-1-6

ふじさわ・九条の会ニュース



NO19

発行人 ふじさわ九条の会 事務局長 斎藤隆夫 0466-35-7104

Eメール fujisawa9jo@infoseek.jp HP <http://fujisawa9.hp.infoseek.co.jp/>

11月6日、藤沢市民会館小ホールが超満員

澤地久枝さんの講演会に465名集う



11月6日、澤地久枝さんの講演会が、藤沢市民会館小ホールで開かれました。参加者は465名、いす席

は満員、多くの方が会場に入れずロビーで聞く羽目になりました。

澤地さんは、当初、春の4周年集会でお話しして頂く予定でしたが、体調を崩され、今回、秋の文化講演会で話して頂くことになったものです。講演のテーマは「ひとりからはじまる」で、生誕100周年を迎えた大岡昇平さんの「レイテ戦記」のお話、ペシャワール会で活躍している中村哲さんのお話、九条の会の呼びかけ人の一人であった小田実さんのお話などが語られました。

澤地さん自身、大岡昇平さんのレイテ島軍記の舞台となったフィリピンのレイテ島とミンダナオ島に出かけたとのことですが、現地で殆ど全滅した大勢の日本兵の事を思うと心が痛むと話されていました。

また、アフガニスタンで水資源確保の為に聴診器をブルトーカーに持ちかえて活躍されている中村哲さんを支援するために、本の出版の準備を進めている事が話され、皆さんも、NPOで民生支援を続ける中村さんのペシャワール会の活動を支援して欲しい、軍隊派遣ではなくこうした活動こそがアフガニスタンに平和をもたらす最も確かな



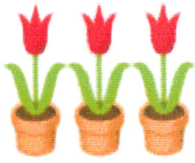
道ではないかと訴えられました。

さらに、亡くなった小田実さんについては「一人でもやる、一人でもやめる」という小田さんの言葉を紹介しながら、人間は小さな力しか持っていないが「戦争はイヤだ」という人間の輪が大きくなれば社会は良くなるのではないかと、一人の人間が行動に立ち上がることの大切さを訴えておられました。

集会の後、68名の方からアンケート回答があり「澤地さんから元気を貰った」「藤沢に来る前日に大分でも講演をされ今日はその帰りだという澤地さんの行動力に敬服する」「解りやすいお話でとても良かった」「いかにも女性らしい優しい血の通ったお話だった」等々の感想が寄せられました。また、ふじさわ・九条の会の活動支援と澤地さんも講演の中で訴えていたペシャワール会の活動支援カンパの中から、10万円をペシャワール会にお贈りしました。(小林)

<投稿>

日本の憲法九条の運動を どのように世界に発信するか



熊崎 勝弘

(六会在任)

戦後、アメリカは、何故、

日本の憲法に「九条」を挿入させたか

アメリカは終戦直後から日本の天皇制を残し、折から台頭してきた人民中国をにらみ、反共の防衛ラインを日本に築く戦略を持っていたことは周知のことです。しかし、当時東京裁判の原告国家や世界の世論はそれをとても許さない状況でした。また、GHQの進歩的なグループは日本の革新民主の勢力と一緒にあって、どうしても天皇を残すなら軍隊と交戦権を否定した「九条」をと要求してマッカーサーはそれを了承したのです。

何時頃から、アメリカは

憲法九条改正を求めようになったか

憲法九条は、当初、日本の再軍国主義化を防ぐ歯止めの意味がありましたが、東西対立が終わり、ネオコンの新しい世界戦略が始まるとアメリカの世界制覇の道具としての日本軍（自衛隊）が求められる情勢になったのです。朝鮮戦争、ベトナム戦争の頃は、そう派手な動きは出来なかったのです。何しろ日本の平和勢力はまだ力がありましたから。60年安保の時はアメリカ大統領の来日を阻止するような力が平和を守る側にありました。

現在の、日米支配層の憲法改正の意図

現在、アメリカの産軍共同体と日本の財界、政界との結びつきも一層深まり、彼らは九条が邪魔になってきたのです。自衛隊の中にも戦力を持ちながら戦えない自衛隊に対する歯がゆさも強まり、アメリカに対する従属の状態も厭うような勢力が生まれて田母神元空幕長みたいな人たちも現れました。彼らは九条を廃止して日本の軍隊を自立させて、その規範を天皇に求めるような主張も始めました。

日本の憲法九条を守る運動は

まだあまり世界に知られていない

あるアメリカ人から「日本はグローバリズムが下

手です」と言われました。また中国に住む友人は「日本の反戦・平和の運動は閉鎖的だ、東アジア共同体についてはまさに鎖国的だ」とまで決めて私に挑発をかけてきます。たしかに、世界の主要なメディアは日本に関する記事をほとんど載せない。何故か？日米両国の報道の統制もあるが、アメリカ政権の日本に対しての宗主国的態度に日本の政府は骨の髄まで従属的な姿勢にあります。

日本の声が世界に届かない理由がもう一つあります。それは日本の国民自身の問題です。数年前、私はひとりのイラン青年と診療所の待合室で出会いました。私はその青年に、その年の6月15日にアメリカ軍がイラクからイランに侵攻する計画があるのを知っているかとたずねると「そんなことなら私の国では小さな子どもたちまで知っているよ」との返事、私は話題を変えて日本の憲法九条のことは知っている？と問くと実に詳しく知っていました。九条については「あれは少し嘘つきでしょう」といわれました。私の診療の順番がきてしまい、そのまま別れましたが、アフガンからイラクそしてイランへというのがアメリカの最初からの戦争計画でした。

勇気をもって

憲法九条を世界に発信しよう

イラクでブッシュに靴を投げたTVカメラマンがいましたね。彼の行動は世界へ向けての大きな発言でした。でも勇気がいる行動でした。その場で彼はガードマンに射殺されたかも知れなかったのですから。かれは裁判にかけられ、懲役3年の刑が確定しましたが、すぐに釈放され、いまは元気でいます。世界の多くの人が彼を支持する発言をしたからです。自分の考えを人に話すことは、まだ日本ではそんなに勇気のいることではありません。世界に向けて発言する為に先ず自分から「憲法九条」の意味をしっかりと学び発言してゆきたいと思います。

<註 編集部より>

「九条の会」も発足以来5年目を迎え、会員の皆さんの中には、会のあり方や運動の進め方について、色々ご意見があろうかと思えます。ニュース編集部ではこうしたご意見を紹介し、運動の発展に役立てたいと考えます。1300字程度で御投稿をお待ちしております。

藤沢・地域九条の会 各地で総会、学習会開催

湘南台九条の会

湘南台九条の会は11月3日、湘南台市民センターで37名の会員が参加して第三回総会と学習会を開催、1年間の活動の総括を行いました。毎月1回9の日に湘南台駅東口でマイク宣伝、チラシ配布、署名活動を行っていることが報告されました。この行動には毎回7～10名が参加し、20名内外の署名、1000円内外のカンパを貰っているとのこと。「継続は力なり」を胸に今後とも頑張ろうということが決議されました。二部の学習会では、2名の方から戦争体験の報告、小野強さんのオカリナの演奏、会員の方の詩の朗読がありました。峠三吉の「ちいさい子」「人間をかえせ」の詩の朗読が参加者の感動を呼びました。
(上野武雄)

六会九条の会

六会・九条の会では、11月29日、六会公民館で発足4周年の集



館で発足4周年の集を開きました。集会では、まず最初に保坂

治男先生から「唱歌などの歌詞の本当の意味」について「里の秋」などの例を出し、説明と参加者全員の合唱がありました。ついで上浦事務長より1年間の経過報告として

- ・会員が昨年より増え110名になったこと
- ・会のニュースを2ヶ月に1回発行したこと
- ・戦争体験の学習会をおこなったこと
- ・六会公民館まつりに今年も参加し、パネル展示を行ったこと 等が報告されました。

集会にはふじさわ・九条の会事務局長の斎藤さん江ノ電沿線九条の会、湘南大庭九条の会、辻堂文化九条の会の代表が参加して挨拶されました。

江ノ電沿線九条の会

江ノ電沿線九条の会は12月5日に第3回の総会を持ちました。



国民投票法が2010年5月に施行されるということで、9条を守る運動にとっ

ては正念場だとの理解から、皆さんに多くの意見を聞かせていただきたと考えて持った集まりでしたが、他の集まりと重なり、参加者は多くはありませんでした。まず折原さんのフルート演奏でリラックス、それから討論に入りました。藤沢の空襲は関東特殊鋼にあっただけだ、戦後辻堂に駐留したアメリカ軍を藤沢から追い返したなどの歴史を知り、そんな映像を見るのはどうだろうといった意見があっただけで、少々さびしい総会でした。今年は9条を守る運動にとって大変な年になりそうです、学習に、運動に、頑張っていきたいものです。
(川崎典子)

「九条かながわの会」の 11、11集会に参加して 金子不二子

「いま、歴史を動かそう～輝け九条、かながわから平和を」というスローガンを掲げて「かながわ九条の会」が11月11日神奈川県民ホールで集会を開きました。米軍基地のしめる割合が沖縄に次ぎ、全国2位の神奈川の実態を明らかにする「神奈川はいま～映像、基地の街からの報告」がありました。原子力空母の母港となった横須賀、子どもたちの遊ぶ公園をかすめるように軍用機が離着陸する厚木基地、戦争司令部が配属されているキャンプ座間、それぞれの住民からの詳しい報告がありました。

後半は小森陽一、池田香代子両氏の対談でした。

「朝鮮半島+日本列島での非核化が最終の冷戦処理」「拉致問題とは分離してでも早急に解決を」「戦後処理の日朝正常化がアジアの平和に重要」と平和について熱論が交わされました。

ライフタウンで 4000枚のチラシ配布 「憲法九条」の大切さを市民に訴え



私たちは、これまで「9の日行動」でチラシを配布しながら（主としてサン

パール広場）、市民に「憲法九条」と「平和」の大切さを訴えてきました。しかし、藤沢市民の多くはまだ「ふじさわ・九条の会」を知りません。ところが、一方で安倍内閣のときに成立した国民投票法（憲法改正手続き法）がいよいよ2010年5月から施行されます。国会が「憲法改正」（改悪）を発議しないようにするために「九条を守る」活動をもっともっと広げていく必要があります。

第一回の大量宣伝行動は、10月18日（「湘南大庭九条の会」の協力もいただいて）4500枚を配布することができました。

次回は、藤が岡団地周辺予定

第二回宣伝行動は今年の3月28日（日）の午後、藤が岡団地を中心に3000枚を配布する予定です。ちょうど桜の季節です。チラシ配布の後は「お花見」会も企画するなど楽しい行動日にしたいと考えています。みなさん！力を貸してください。藤沢市民に「九条の会」を宣伝していきましょう。（事務局長 斎藤隆夫）

12/8不戦のちかい平和行動に ふじさわ・九条の会も参加

12月8日、太平洋戦争開戦の日に当たって、再び戦争をしてはならないという想いを込めて不戦のちかい平和行動が藤沢サンパール広場で行われ、ふじさわ・九条の会も参加しました。藤沢合唱団のコーラス、津軽三味線の演奏など多彩な行事が行われる中で通行人にチラシを配ったり、参加団体の挨拶、議会中ではありましたが党派を超



えて藤沢市会の議員さんも駆けつけ、それぞれ訴えを行いました。

「9の日」行動 昨年12月で連続56回

毎月9の日にやっているふじさわ・九条の会の宣伝行動も昨年12月で連続56回を数えました。会員が当番でチラシを作り、トトロなどの折り紙を折って通る人に配っております、特別なことが無い限り、13時30分から15時まで1時間半くらい藤沢サンパール広場でやっております。夏場の7月～9月の暑い時期は16時から始めます。最近、若干配り手が少なくなって来ましたので、是非多くの皆様のご参加をお願いします。憲法を守るには、憲法条文にも書かれていますが「国民の不断の努力」がもとめられています。今年も9の日行動を継続させてゆきましょう。

＜事務局だより＞

第2次世界大戦が終結して64年の歳月が過ぎようとしています。戦争が忘れられ語り継ぐ人も少なくなっています。少しでも戦争体験した方々の記事を募集しています。二度と戦争を起こしませんように、夫や兄弟を戦地に送った留守家族の様子等でもよいと思います。

1500字程度、1月末〆切、3月末発行予定。

＜今後の主な日程＞

- 1月11日 成人式向け宣伝行動
(休日) 藤沢駅南口、11時30分より
- 1月29日 世話人会議 18時30分より
(金) 市民活動推進センター
- 3月28日 地域宣伝 藤が岡団地市民の家集合
(日) 午後(時間未定)
- 5月15日 5周年集会 湘南台市民センター
(土) 時間未定